

平成 30 年 10 月
第 387 号



お お く て 大 湫

広報



稲刈り体験 9/24 (祝・月)
(社会福祉協議会 大湫支部主催)

「みんな、なんだか…楽しそう！」

おもな内容

- ・大湫町敬老会 …P2
- ・釜戸中最後の体育大会 …P3
- ・大杉の大しめ縄作り …P4
- ・稲刈り体験 …P4

大湫町敬老会 9/16 (日)

対象者(68人)
足又区:18人
西 区:20人
北 区:10人
神田区:20人

雨降りが続いた後、ようやく晴れました。まるで天気も敬老会のお祝いをしてくれてるようです。

新しく社会福祉協議会大湫支部長になられた瀬瀬富久氏の進行で行事が始まりました。



安藤氏の指導の下
「頭・手指体操」をみ
なさん、いい笑顔で、
頑張りました・・・！



来賓のあいさつに続き、地元介護予防サポーターの「安藤則通氏」が『頭と手指の体操』を指導。両手の違う動きや2曲の童謡を別のグループに惑わされずに歌ったり、とても楽しそうでした。

食後は、常夏のハワイじゃなく釜戸のハワイアン「レイ・コアリ」のみなさんが優雅なフラダンスを披露してくださいました。



来年もみなさんのお元気な姿をお待ちしています。
そして、スタッフの皆さんお疲れ様でした。

おめでとうございます (瑞浪市福祉大会)

- 功労者表彰：安田鉦之、桐井義弘
- 米寿のお祝：三戸幸子、武田瑠璃子、柘植美智子、加藤さだ子

いつまでもお元気で！

釜戸中学校体育大会 9/16(日)



予定していた15日は雨だったけど、次日に開催できました…!

釜戸中として最後の体育大会のため「町民参加のプログラムもありましたよ」

「最後の体育大会」

板橋 星弥

僕は体育大会があまり好きではありません。でも、今年の体育大会は楽しかったです。

僕はリレーでアンカーを走りました。接戦でバトンをもらいました。みんなが応援してくれたおかげでなんとか逃げきりました。

練習では、いつも負けてばかりだったので、勝てたときはうれしかったです。

今年は最後の体育大会で地域競技もあり、記憶に残る体育大会でした。

『地域と一緒に』

- 応援歌披露
- フォークダンス
- 地区分団対抗リレー
- 消防団操法発表



地域の方と一緒にフォークダンスを!

参加された皆さま、お疲れ様でした。

*大湫宿お休み処

10月の営業は7日(日)・8日(月,祝)・14日(日)・21日(日)・28日(日)です。皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひします。☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願ひします。TEL:0572-63-2455

*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)

10月営業日 第2・第4土曜日

営業時間 AM9:00~AM11:00

営業場所 ふれあいセンター



神明神社の大杉しめ縄づくり 9/23 (日)

秋祭り前に行われる「大杉の大しめ縄づくり」を伝統を絶やさぬようと今年から「大湫町コミュニティ推進協議会(まちづくり)」の団体として、傳承していくこととなり 23 人の男衆が集まり汗だくになりながら作業に励みました。



前日が雨だったため小学校の運動会と重なり、若い人の参加はありませんでしたが、来年に期待したいものです。

参加された皆さん、お疲れ様でした。来年もよろしくお願ひします。

稲刈り体験(社会福祉協議会大湫支部主催) 9/24(祝・月)

昨年と一昨年は、あいにく行事や雨のため稲刈り体験を企画することができませんでした。今年は「ぜひやりたい」と釜戸小学校を通じて子どもたちにも案内し、今年は参加してもらうことが出来ました。釜戸小学校の校長先生も参加して下さいました。

多くの子ども達が大人と一緒にノコギリ鎌を使ってよく育ったイネの株を刈り取っていきます。昼前にはハザ架けまで終わることができ記念にパチリ (右下写真)。

参加されたみなさん、お疲れ様でした。



旧大湫小学校

思い出の小学校

足立 真衣

小学校が取り壊しとなり、空き地となってから何度か訪れてみました。ここに教室、ここに保健室と記憶がよみがえってきて、淋しさとともに、「ありがとう」という気持ちがこみあげてきました。

私の思い出の中で大好きな場所は幾つもありますが、中でも図書館は特別です。低い天井と短い階段、丸テーブルと木の香り。本が好きで、とても落ち着く場所でした。小さな部屋でしたが、秘密基地の様でわくわくする気持ちもありました。

沢山の卒業生が、それぞれの思い出を持っていると思います。いつまでも色あせず、一人ひとりの心の中で生きていってくださることを願っています。

昼休みの図書室



次回は西山美穂さん（北区）です

九月の句

足に貼る湿布の匂ふ秋涼し
持て余す畑に一人つくつくし

山口雪子



立秋や夕風運ぶ寺の鐘
停電の続く今宵の無月かな

天野辰代

大湫景観づくりワークショップ 9/8(土)

「現在の大湫のまち模型」を岐阜工業高等専門学校生が制作。この模型は現在の大湫宿を縮尺(1/100)で正確に作られています。これを基に景観について話し合いが行われました。この作品は丸森にて11/3まで展示していますのでぜひご覧下さい。



いますのでぜひご覧下さい。



鳥になったように「宿」を見おろすかんじだね



三戸氏の「竹細工」と違った味わいだね!



丸森だより

9月の丸森から

訪れた方 (9/25まで)

町外から		町内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
400	8	86	21	515	36

H30,4月～	4,701 人
オープンから	15,914 人

(団体)

- *岐阜工専学生(のべ 25 名)、ぎふ 17 宿踏破(39 名)、瀬戸からの団体(15 名)
- *外国人ツアー(5 回で 36 名)……秋の Walk japan ツアー(毎週土曜日)
新しいツアーの Raw トラベル(小人数)
- *9/29(土)、岐阜県商工労働部 観光国際局 海外戦略推進課の依頼によるガイド
来月末に市長も同行する地歌舞伎のパリ公演に合わせて
相生座・加子母・下呂の地歌舞伎+地元の写真展のために写真撮影をする
(この大湫宿も)

(最近の様子)

- *歩き旅の人や団体が増えてきた。
- *日曜日のお休み処のファンが多く賑わいだした。
- *Walk japan が丸森で弁当の受け渡しをする。
- *9 月から、日本語が話せない外国人の方が目立ち対応に苦慮する。

10月の観光案内 から、

*ツクルテが 11 月に移動したので、大湫宿内のイベントは 神明白山の秋祭りのみ

10/7(日)お祭り	ぎふ 17 宿踏破に参加 丸森対応のガイド	五平 2 本+コーヒー(お茶)+お土産 参加費 500 円徴収 面高屋で食事休憩(11:30~13:30)
------------	--------------------------	---

*丸森内の展示・・・景観委員会の時に、岐阜工業高等専門学校生が制作した「まち町の模型」を11月3日の文化祭まで展示するので見てもらう。



大湫中学備忘録（4）

（1）修学旅行のこと

年が明けると次年度の学校行事を決める話し合いが始まります。それぞれの行事日程を決めるには曜日も考慮に入れ、行事日が特定の曜日にならないようにしなければなりません。

当時、校長は小学校と兼務。運動会など一部の行事は。小中合同で実施していましたので、双方の行事日をすり合わせることも必要でした。

入学式や卒業式・遠足・運動会・学芸会などは「学校行事等」とされる教育課程（1）の一つ。学校教育では欠かせません。

学校行事の中で、修学旅行は最大のイベント。この修学旅行の始まりは、一八八六（明治19）年二月に東京師範学校（現筑波大学）が行ったのが最初とされています。当時の報告書では「長途遠足ノ學術上ニ有効ナルハ教員一同ノ確認セル所ナリ」と記されています。今の修学旅行です。だが、そ

の内容は軍事教練と文化財の見学が合わさったものでした。

戦争中の一九四〇年、文部省（現文科省）は修学旅行を中止するよう通達。修学旅行は途絶えました。しかし戦後の食糧不足や交通事情の悪化という悪条件の中でも、早くも一九四六（昭和21）年には、各地の学校で修学旅行が行われた記録が残っています。

戦後復興が進むと共に、修学旅行の実施校も増加し、一九五三（昭和28）年には、全国中学校の87%、高校の65.7%が修学旅行を実施（2）しました。費用が出せず、修学旅行に行けない家庭の生徒もあります。どうしたら全員で旅行に行けるかと、大湫中学の生徒たちも心を砕き行動も起こします。

「夏休みなど先生と一緒に山に行って薪運びをしたり、人手の足りない農家の手伝いなどしてどうしたら全員で旅行に行けるか学級で相談した

ことなど旅行に行ったことより皆で苦労したこと、米を持って行かないと旅館に泊まらない時代で二泊分の米と宿泊代にする分の米が重かったことが思い出される京都奈良の旅行でした」（『記念誌』昭和27年度卒業辺英二）。食糧難だったこのころの旅行には米を持参する必要があり、それは修学旅行も例外ではありませんでした。「修学旅行へ行くために、全員で参加する様に、植樹をしてそのお金で旅行に皆で行くことが出来ました」（『記念誌』昭和29年度卒業近藤貞子）。「冬休みは、希望者だけが、植林の手伝いをして、一日、百五十円、雪が降ると百七十円いただきました。それを貯めて、修学旅行の費用に当てました」（『記念誌』昭和34年度卒業谷川 達二）。

行事日程を決める職員会議のことです。「来年度修学旅行をおこなう計画となつていますが……。できますかね？」。「来年の三年生は、二十一名で

すよ。団体割引が該当するんじゃない

ですか。割引がないと旅費などの経費
が高くなりますから」。「修学旅行は時
節柄控えるようにとの通知が大阪で
は出てますよ」⁽⁴⁾。「それもあるけど、

男女別にちゃんと部屋が取れるかね」。

「引き受けてくれる旅館があるかど
うかもわからんですよ」。侃々諤々の
議論。

校長が「生徒の希望も強いし、意
義はある。やりましょう」。

大湫中学の初めての修学旅行は、
開校初年度。戦後の混乱が少し落ち着
いたかな、と思われる頃。一九四七年
十一月二十四日。旅行シーズンには少
し遅めです。行き先は岐阜市内。宿は
旅館「四季の里」でした。

昭和二十三年度の卒業生は「修学
旅行にも行けなかった」。「主要日誌」
⁽³⁾にも修学旅行の記載はなく、修学
旅行はありませんでした。

一九四九（昭和24）年は、十一月
二八日から二泊三日で三年生が出か

けています。

翌年の一九五〇年は、二、三年生
の合同。一泊二日の日程です。二名の
引率教員と「保健婦」も同行しました。

二学年が合同で行くことのメリット
を考慮し、今後は隔年で修学旅行を
実施します。この年、二・三年の該当生
徒全員が参加していれば、四十四名。

一九五二（昭和27）年度は、十月

十日。同じく二、三年合同（75名）
で奈良・大阪・京都方面への二泊三日
でした。

修学旅行は、実施時期・コースの
選定など、関係方面と打ち合わせする
ことは盛りだくさん。生徒数が多い場
合は、宿泊施設を貸切状態にできる場
合もあります。少なければ一般旅行
者と同宿となり、一般客とのトラブル
も心配。それを避けるため、接触する
場を少なくすることも考えなければ
なりません。浴場や食事場所の使用時
間の調整をする必要が生じます。旅館
側にも引率する教員の側にも安心出

来るようにするには、貸切状態であつ
た方がよいのです。そのため、一校で
は人数が少ないため、地域の学校が合
同で修学旅行に出かけることが提案。
それが瑞浪市全中学合同の修学旅行
でした。

一九五四（昭和29）年度の大湫中
学の修学旅行は、全中学合同修学旅行。
それまでの秋から夏（八月二五日から
の三泊四日）へ時期も変更。合同にす
るためには、どの中学も行事日程が取
りやすい時期となったようです。しか
し、旅行によい時期とは言えません。
学校側の都合だったのでしよう。この
年の四月から町村合併で瑞浪市立と
なったことも大きな理由のようです。

大湫からの参加は、二・三年生の
合同（49名）。「初日は、江ノ島、鎌
倉、東京へと、東京の夜景のすばらし
かったこと。二日目、国会議事堂、上
野公園の西郷さん、皇居、日光へと行
きました」<sup>(『記念誌』昭和30年度卒
大山 光博)</sup>。東京と日光で泊り、長

野へ行く夜行の車中で一泊する三泊四日の行程でした。

その後の修学旅行は、隔年の昭和三十一年（五月）、三十三（五月）、三十五年（九月）と関西方面に二泊三日で実施されました。

修学旅行の思い出は懐かしく、何歳になっても「あのときは・・・」と、話が尽きません。

(1) カリキュラム。学習指導計画

(2) 1948年8月20日。国鉄（現在のJR）は、生徒運賃を半額、引率教員を二割引とした

(3) 昭和31年5月『沿革史』に記された「主要日誌」

(4) 「修学旅行については生徒の熱烈な希望もあり、事情やむを得ない場合もあると思いますが、時節柄父兄の立場や国の経済事情も考慮してなるべくこれを控えられませう、万止むを得ない場合は精々一泊程度の旅行にされるようお願いします」。1948年11月26日、大阪府教育部長

(2) 臨海学校のこと

「生徒たちに海を見せたいね」「水平線を見ると地球の球体を実感できませんか」「海の水がショッパイことを体験できるのもよい思い出になるんではないかなー」。

海水浴の体験行事を実施する上で、後押しとなったのは知多郡（現知多市）旭北小学校（^①）から打診のあった林間教室でした。一九四八（昭和23）年七月二七日から二泊で、同校の児童四十五名が大湫に来て、教室を利用したことです。行事を「相互乗り入れ」的なものとするので、臨海学校実施に伴う経費が抑制されるめどがたちました。大湫中学の生徒たちは、この旭北小学校を宿泊場所として日長海岸（新舞子）での海水浴が実現します。初めての臨海学校。八月六日からの二泊。三五名が参加しました。

岐阜県は海に面しない数少ない都道府県の一つ。海を見たことのない生徒たちが感動することを期待して海

水浴につれていくことを決めたのです。

「二年の夏、知多郡の新舞子に全校で合宿山に住む私達は海はめずらしい。どこまでもつづく地平線（ママ）に地球の不思議さに感動」（『記念誌』昭和24年度卒大沢 松枝）。「中一の時、臨海学校で、生まれて初めて、海を見、泳いで感激しました」（『記念誌』昭和34年卒長谷川 達二）。

教員の期待通りでした。

臨海学校の教育的効果は認められたものの、費用の点で問題がありました。交通費や宿泊費の父母負担は重く無視できず、継続することは困難でした。もう一つは怪我が多かったことにもあります。海で泳ぐ経験がない生徒は、海水でふやけた足や手をフジツボや二枚貝のかけらでよく切りました。引率の養護教諭は治療に追われ「大変でした」。

が、山家育ちの生徒に「海を見せたい」「海で泳がせてやりたい」と言

う思いは、父母や教師に強くありま
した。

一九五七（昭和32）年五月、校長
と育友会役員が海水浴場の下見に出
かけました。この年、八月三日、二泊
で「臨海学習」を開校。全校生徒が参
加。知多郡美浜町の小野浦海水浴場
（野間灯台の南）での臨海学校です。

一九五九年八月十二日、日帰りで
の海水浴⁽²⁾を計画実施。ところが雨
のため海で泳ぐことは叶わず帰校せ
ざるを得ませんでした。満身に泳げる
場所がない大湫の生徒たちにも泳ぎ
を楽しませたいと「プール建設準備委
員会」を発足させ、初会合をこの年の
十二月八日におこないましたが、プー
ル建設の実現を待たず大湫中学は釜
戸中学と合併しました。

（1）旭北小学校は新築移転により現在
地に

（2）観音堂下を5時半に出発。現地に
着するころに降雨のため泳げずに帰校

『台風21号の爪痕』

全国各地に被害が相次いだ台風21号。

大湫町でもあちらこちらでスギ・ヒノキを中
心に倒木が発生。区長会をはじめとする役
員や有志の方々に撤去作業が行われました
が、一日や二日で終了するような倒木数で
はなく、何日も続けられました。

また、生活道路だけでなく中山道にも被
害はおよび琵琶等や十三峠での倒木は一カ
所や二カ所に留まらなく、おまけに車で近
づけない所も多く大変な作業が続きました。

「23日には、中山道のイベントを控えてる
から早くなんとかしなあかんなあ」と疲
れた顔も見せず、作業されました。

お蔭で『中山道ぎふ17宿踏破ウォーキ
ング』に参加の皆様には倒木の心配なく
歩いていただけました。

作業していただきましたみなさん、お
疲れ様でした。



日本の農業はどうなる

父親がよく「農業だけは絶対するな」と言っていた。自我の強い私は、それでも農業を志した。読書が好きで、学校の勉強をなおざりにして小説ばかり読んでいた。

鮮明に覚えているのが、農協の前身、産業組合の父と言われていた賀川豊彦先生の著書「乳と蜜の流れる郷」である。貧しかった農民を救うために、共同組合の必要を説いて奔走した一人の男の物語である。

昭和二十四年、村長（農協組合長兼任）の桐井津意知さんに要請され農協の職員になった。県下で一番小さな農協で給与が悪く、職員はすぐに転職してしまった。

賀川豊彦先生に心酔し、組合員百二十名の貧弱な組合の運営は、誰が見ても困難であるとは判っていた。桐井組

合長には「やりたいようにやれ」と言われ、夢を描いている中に予期せぬことが起きた。頼みにする桐井組合長の不慮の死だった。

町村合併により村は瑞浪市となり、村の援助もなくなり、若干三十歳で組合の運営を任された。

昭和四十三年、市内八ヶ所の農協は合併し、「青い空が見たい」と思っていた私の役目は終わったと農協を辞し、「乳と蜜の流れる郷」作りに取り組むことにした。

先人吉村劔次郎氏が、中山道大湫宿に植えられ「幻のユリ」と言われていたユリを、大湫の特産品にしようと取り組んでおられた。当時、国も輸出農産物としてお茶や生糸を輸出しようとして養蚕を奨励していた。加えて山野に自生する日本のユリ（百合）は、世界中から注目されており、有望な輸出農産物だった。中国が原産と言われている

た「博多百合」も有望だったが、病気に弱く栽培が難しかった。

吉村氏は、私がユリにのめり込むのを見て、栽培を止めるように再三忠告された。

念頭には、九州より狭いオランダがチューリップやユリの栽培でヨーロッパの輸出国となった事があった。

我が国は工業国として経済大国となった。どちらが良かったかは別として、今、絶好調のトヨタなど多くの大企業が、食料の生産や加工事業に進出しようとしている。世界は限りなく貿易の自由化に向かっている。近く日米両国間の貿易協定が結ばれる。日本の農業は大打撃を受けると言われている。在職中、銀行化する農協に「本来の目的」に立ち戻る必要を提言したことがあるが、日本の農業は大規模経営と家族経営農家に二極化されるだろう。

せらしお H30

大深町コミュニティ推進協議会
集まる会

10月の集まる会

★ 10月の太鼓は.....

○ 日吉の文化祭に出演します。10/20(土) 14:30スタート

場所・集合：日吉町コミュニティセンター 13:45
控室：福寿荘

◎ 演目...「証城寺の狸ばやし」「大杉」

○ 釜戸の文化祭に出演します。10/28(日) 11:55スタート

場所・集合：釜戸コミュニティセンター 11:20
控室：和室

◎ 演目...「証城寺の狸ばやし」

○ 大深の文化祭に出演します。11/3(土) 10:00スタート

場所・集合：おもだかや表側 9:30 (控室も兼ねる)

◎ 演目...「証城寺の狸ばやし」「楽」「大杉」

◎ 練習日は、10/1、10/8、10/15、10/22、10/29の19:00～20:00

★ 大深町の文化祭に茅煮会をやります。

芸能の部が終了してから、講堂で、皆さんにふるまいますので、お手伝いを、して下さい方、よろしくお願い致します。

準備(公民館) — 10/2 13:00～、と、10/3 8:30～です。

(集まる会)で収穫したさつま芋を使います。皆さんで、楽しみましょう。

★ 10/13(土) さつま芋堀りをします。さつま芋畑に9:30集合して下さい。森さん山荘で焼き芋会も予定しています。皆さん集まって下さい。楽しみましょう。誰れでも参加OKです。

※ 10/12(金)に、さつま芋のツル切りをします。都合のつく方、お願い致します。9:00です。

大湫コミ・公民館からのお知らせ

<p>オススメ！大湫分室の本 『ともにつくるDIYワークショップ』 河野 直：著 住まいをリノベーションしたい。 仲間を巻き込んで楽しくつくる。左 官壁塗りや床貼りなどの施工やキ レイに仕上げるコツを紹介。今、流 行のDIYいかがでしょうか。</p>	<p>ご招待券あります（各2名様） ○『没後50年記念 加藤士師萌展』 期間：11月4日（日）まで 会場：岐阜県現代陶芸美術館 ○『人間国宝 加藤孝造・村田允コレクション展』 期間：11月25日（日）まで 会場：市陶磁資料館</p>
---	--

<p>大湫町文化祭 11/3 作品募集中！ 今年もみなさんの作品で文 化祭を盛り上げてください。 もちろん、芸 達者な方も大歡 迎です。</p> 	<p>中仙道 GC より 第10回チャリティ夏祭り9/1 今年も花の森整備事業やまちづくり事 業のためにと「チャリティ夏祭り」の売 上を寄付してください ありがとうございました。 ありがとうございます。 大切に使用せ ていただきます。</p> 
--	---

<p>青色回転灯防犯パトロール 10月のパトロール予定者</p> <table border="1"><tr><td>(10/月上旬) 桐井賢次, 柘植 巧</td></tr><tr><td>(10/下旬) 奥村準蔵, 三浦信之</td></tr></table>	(10/月上旬) 桐井賢次, 柘植 巧	(10/下旬) 奥村準蔵, 三浦信之	<p>デマンド交通 利用者(大湫～日吉東部) 8月：58便 延べ132名</p> <p>いつもご利用いただき、ありがとうございます。 これからもよろしくお願ひし</p>
(10/月上旬) 桐井賢次, 柘植 巧			
(10/下旬) 奥村準蔵, 三浦信之			

<p>リ・アップ “ひよも” だより</p> <p>10月のお茶のみ会のおさそい</p> <p>日 時：10月3日（水曜日）9：30～11：00頃まで</p> <p>場 所：ふれあいセンター</p> <p>参加費： 無料</p> <p>_____ お待ちしています _____</p>	<p>高齢者の交通安全教室 をやりますよ！</p>
--	-------------------------------

区長日記

近年にない強風台風となった二十一号は、大湫町の山林に多くの傷跡を残し走り抜けて行きました。特に管理の行き届かない人工林では倒木が多く発生し今後の山林管理に課題を残しています。

また生活用道路沿線の倒木は、通行の遮断とともに電線に被害を与え、長時間の停電を招きました。特に幹線道路の危険木については、本年も市・県など行政機関へ対応策を要請して参りたいと思います。

なお宗昌寺から東の中山道沿い5haに計画しております観光景観林整備事業につきましては、全ての地権者の皆様にご了解をいただき、年度内の整備に目途が付きました。心から感謝申し上げます。施工にあたっては何かとお世話をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。

秋は各地区の例祭をはじめ、文化祭・「オオクテ・ツクルテ」など、大きな行事が続きますが、実りある季節にしていきたいと思っておりますので、皆様のお力を貸してください。

区長会長 足立

9月1日 中仙道ゴルフ場夏祭り

4日 台風21号避難所開設

5日 台風21号災害復旧作業

7日 定例区長会・幹事会

8日 北中学見学会・景観協議会ワークショップ

9日 大湫町奉仕作業

10日 観光景観林整備事業打合せ会

12日 夢づくり「ステップアップ事業」ヒアリング

14日 中山道観光ボランティア研修会

16日 釜戸中学校運動会・敬老会

18日 オオクテ・ツクルテ実行委員会

21日 多面的機能交付金事業県ヒアリング

23日 釜戸小学校運動会・しめ縄づくり

24日 みんなの農園「稻刈体験交流会」

25日 文化祭実行委員会

26日 瑞浪市自治連合会

27日 大湫宿山車整備打合せ会

29日 長寿会秋の奉仕作業

平成三十年十月行事予定

予 定

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇							
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
	財産区全員会議 〔手作り小物〕展開催中(十日まで)		リ・アツプ「ひよも」 高齢者交通安全教室		定例区長・幹事会		竜吟幼児園運動会		神明白山神社例祭		*体育の日 / 市福祉まつり		おしゃべりサロン 集まろう会(芋掘り)		神田白山権現社例		草刈りボランティア作業		集まろう会太鼓(日吉町文化祭演奏)		釜小学習発表会・教育講演会		足又例祭		瑞長連パターゴルフ大会 (大湫会場)		竜吟幼5歳バス遠足		おしゃべりサロン 釜戸町文化祭(二八日まで)		モニタリング調査		集まろう会太鼓(釜戸町文化祭演奏)		ノルディックウオーキング		広報委員会 / 小中音楽会

今月の資源ごみ: 10/22(月) 不燃ごみ: 10/5(金)

編集後記

暑さも尋常でなかったが、さすがに十月ともなると朝晩はやはり涼しいですね。

お彼岸時期には彼岸花が咲き、空を見上げれば秋のうろこ雲が広がっていて、季節の移り変わりを実感したりして・・・。

変化していく季節を楽しみながら過ごすのもいいですね。

何はともあれ、早寝早起き・バランスの良い食事を心がけて過ごしましょう

・・・y



編集発行: 大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 平成30年10月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>